

2022年度【東京】

登録ALC基幹技能者講習 修了試験

問題

1. 試験時間：60分
2. 問題数：25問（四者択一式：「最も不適當」なものを選ぶ）
3. 注意事項
 - (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
 - (2) 受講番号と氏名を、解答用紙の所定の欄に正しく記入してください。記入がない場合や正しくない場合は、不合格となることがあります。
 - (3) 本冊子のページ数（問題記載ページ：1～8ページ）と試験問題数（25問）を確認してください。落丁、乱丁、印刷不鮮明な箇所などがあつた場合には、黙って手を挙げてください。
 - (3) 机の上に置くことができるものは、「受講票」、「黒の鉛筆またはシャープペンシル」、「消しゴム」、「時計（携帯電話など、他の機能がないもの）」、「色鉛筆・マーカー等の印を付けるための筆記用具」です。
 - (4) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用できません。
 - (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ① 正解（最も不適當なもの）と考えるものを選択肢1～4の中から1つだけ選び、黒の鉛筆またはシャープペンシルで、解答用紙の回答欄に、その番号を記入してください。
 - ② 解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消した後、新しい番号を記入してください。
 - (6) 試験中、質問等があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問には、お答えできません。
 - (7) 試験開始30分以降は、退室することができます。その際は、黙って手を挙げて試験監督者の指示に従ってください。
 - (8) 試験終了の合図があつたら、筆記用具を置き、試験監督者の指示に従ってください。
 - (9) この問題冊子は、持ち帰ることができます。なお、全会場の問題は、2022年度の全ての講習が終了した後に、正解と共にALC協会のウェブサイトで一定期間公開します。
 - (10) 試験開始の合図で始めます。

一般社団法人 ALC協会

問題 1 登録基幹技能者に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 登録基幹技能者は、元請技術者に対して、施工方法等の提案・調整を行う。
- 2 登録基幹技能者は、部下またはチームの一般技能者に対して、技能者の適切な配置を行う。
- 3 登録基幹技能者は、部下またはチームの一般技能者に対して、施工に係る指示・指導を行う。
- 4 登録基幹技能者は、部下またはチームの一般技能者に対して、前工程・後工程に配慮した連絡調整を行う。

問題 2 建設技能者の職業能力基準やキャリアパスに関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 レベル 1 は、初級技能者である。
- 2 レベル 2 は、中堅技能者である。
- 3 レベル 3 は、職長である。
- 4 レベル 4 は、熟練作業員である。

問題 3 登録基幹技能者制度の活用に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 登録基幹技能者は、国土交通省における工事の総合評価方式で加点対象項目として活用されている。
- 2 登録基幹技能者は、元請企業の優良技能者認定制度の要件として活用されている。
- 3 登録基幹技能者は、都道府県における工事の総合評価方式で加点対象項目として活用されている。
- 4 登録基幹技能者は、民間企業における工事の総合評価方式で加点対象項目として活用されている。

問題4 登録基幹技能者に求められる能力に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 腕力
- 2 意欲
- 3 統率力
- 4 指導力

問題5 登録基幹技能者に必要な資質に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 中堅技能者的な役割を担う。
- 2 熟達した作業能力を有する。
- 3 部下を指揮・指導できる。
- 4 他職種との連絡・調整ができる。

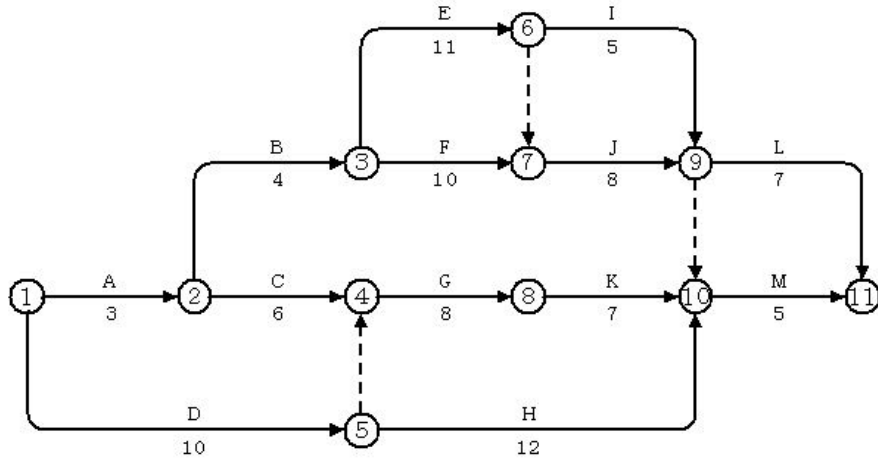
問題6 登録基幹技能者としての倫理・法令の遵守に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 倫理は、人として守り行うべき道である。
- 2 倫理は、人倫の道である。
- 3 倫理は、実際道德の規範となる原理である。
- 4 倫理は、人徳である。

問題7 レベルに応じた技能者の指導・教育に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 OJT は、職場の上司が部下を育成することである。
- 2 OJT は、日常の仕事を通して指導を行うことである。
- 3 OJT は、日常の生活を通してしつけを行うことである。
- 4 OJT は、作業を通して技能者のレベルを上げることである。

問題 8 次の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



- 1 この工程表のクリティカルパスは、A→B→E→J→L である。
- 2 この工程表の工期は、33 日である。
- 3 L 作業のトータルフロート（余裕日数）は、0 である。
- 4 F 作業の最遅終了時刻 (LFT) は、10 日である。

問題 9 わが国の建設業における労働災害の現状に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 昭和 39 年(1964 年)の建設業の労働災害における死亡者数は、2405 人である。
- 2 昭和 59 年(1984 年)の建設業の労働災害における死亡者数は、1083 人である。
- 3 平成 16 年(2004 年)の建設業の労働災害における死亡者数は、594 人である。
- 4 平成 26 年(2014 年)の建設業の労働災害における死亡者数は、177 人である。

問題 10 建設工事の特殊性と施工管理に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 建設工事は、屋外の仕事が多く、降雨、出水、土質など天候・自然現象の不確定要素に左右される。
- 2 建設工事は、受注生産で個々の工事は一つ一つ特徴や条件が異なったものであり、見込み大量生産ができない。
- 3 建設業では、建設する建物が小さなものから大きなものまで様々あるが、企業格差は他の産業よりも小さい。
- 4 建設工事は、目的物が土地の上に固着して作られることから、築造されたものは互換性がなく、不良なものの処置がしにくい。

問題 11 作業手順書に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 作業手順は、作業の中で発生するムリ・ムラ・ムダを取り除き、「安全に、早く、安く、出来ばえ良く、かつ能率良く仕上げる」ために最も理想的な作業順序と急所によって組み立てられる。
- 2 作業手順書作成の目的は、仕事をよく知っている登録基幹技能者・安全管理責任者が中心となって、作業員の意見を聞き、それらを加味して作成する。
- 3 作業手順書は、全ての作業をまとめて作業として捉えたまま、作成する。
- 4 作業手順書は、現場の実情に合ったもので、労働安全衛生法等の法令に違反していないように、できるだけ分かりやすく、具体的に簡潔に表現し、作成する。

問題 12 実行予算に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 実行予算の1つの役割は、工程計画、施工計画に基づいてすべての費用について洗い出し、創意工夫して原価計画する「実行予算の作成」がある。
- 2 実行予算の2つ目の役割は、作成した実行予算に基づいて実績と比較しながら予算内に収めるように統制する「予算実績管理」である。
- 3 受注後に各種の具体的な施工計画を立て、その工事を実行するのに必要な費用をできるだけ精密に予測・算出したものが「実行予算」である。
- 4 積算段階での見込みや標準的な単価等をそのまま根拠にするので、積算担当者が実行予算を作成する。

問題 13 専門工事業者の予算実績管理に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 実行予算と実績を比較して、予定通りに進めることが予算実績管理である。
- 2 現場においては、特に施工量に対する人工数の目標を管理することが原価管理で重要となる。
- 3 原価管理では、契約した工事がスムーズに行くように先を見通して元請と打合せする。
- 4 他の外注業者との調整は、あまり必要はない。

問題 14 施工品質の確保・向上に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 建設現場の作業は、多くの技能者の個々の熟練や経験によって成り立っており、これによってのみ施工品質が確保されている。
- 2 施工品質を確保し、向上させるためには、可能な範囲で作業の標準化を図ることが必要である。
- 3 標準化した作業内容を文章化したものが「作業標準書」である。
- 4 登録基幹技能者は作業標準を熟知し、機会あるごとに施工チーム内にその内容が効果的に伝達されるようにしなければならない。

問題 15 品質保証と ISO 9001 に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 専門工事業者においても、品質マネジメントシステムの国際規格である ISO 9001 の認証を受ける企業が多くなっている。
- 2 ISO 9001 は、製品の品質を担保、保証するシステムを事前に文書化して、それに対して第三者から認証を受け、それを消費者に開示する仕組みである。
- 3 品質保証のための企業活動の内容を、発注者、社会全体に文章等で「見える化」する方向性は、今後も強まることが予想されている。
- 4 登録基幹技能者には、ISO 9001 に関する文書の作成やそれを使いこなす知識までは求められていない。

問題 16 墜落制止用器具に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 これまで建設業等の高所作業において使用される胴ベルト型安全帯も墜落時の危険性はない。
- 2 国際規格等では着用者の身体を肩、腰部、腿等の複数個所を保持するフルハーネス型安全帯が採用されている。
- 3 墜落制止用器具はフルハーネス型安全帯を使用することが原則となり、2022年1月2日からは完全施行となっている。
- 4 高さ2m以上の箇所であって作業床を設けることが困難なところにおいては、墜落制止用器具のうちフルハーネス型安全帯を用いて行う作業では、「安全衛生特別教育」を受けなければならない。

問題 17 建設業法における技術者の配置に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 建設工事の適正な施工を行うためには、建設業者は実際に施工を行っている工事現場に技術者を配置しなければならないが、資格や経験は必要ない。
- 2 許可業者である建設業者は、請け負った建設工事を施工する場合には、請負金額の大小、元請・下請に関わらず、必ず工事現場に施工の技術上の管理をつかさどる技術者（主任技術者）を置かなければならない。
- 3 発注者から直接工事を請け負い、4,000 万円以上（建築一式工事の場合は 6,000 万円以上）を下請契約して施工する場合、主任技術者ではなく監理技術者を置く。
- 4 指定建設業 7 業種の場合の監理技術者は一級施工管理技士、一級建築士、技術士等の資格を有していることが要件である。

問題 18 ALC パネルの種類の説明に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 一般パネルとは、小口面の形状が四角形であるものをいう。
- 2 コーナーパネルとは、小口面の形状が L 形であるもので、主として建物の出隅などに用いられるものをいう。
- 3 平パネルとは、表面に意匠加工のないものをいう。
- 4 意匠パネルとは、表面にタイルや石材等をパネル製造業者にて張り付けたものをいう。

問題 19 平成 12 年建設省告示 1399 号における例示仕様にて、ALC パネルの各部位に必要とされる耐火性能とパネル厚さの説明に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 非耐力の外壁の 1 時間の耐火性能を有する構造として、ALC パネル厚さは 75mm 以上と定められている。
- 2 非耐力の間仕切壁の 1 時間の耐火性能を有する構造として、ALC パネル厚さは 75mm 以上と定められている。
- 3 床の 1 時間の耐火性能を有する構造として、ALC パネル厚さは 150mm 以上と定められている。
- 4 屋根は 30 分間の耐火性能を有する構造として定められている。

問題 20 縦壁ロックンク構法で使用する金物に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 イナズマプレート W
- 2 平プレート
- 3 ウケプレート
- 4 RF プレート

問題 21 ALC パネルの種類と寸法の説明に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 間仕切壁用 ALC パネルの最大支点間距離は、パネル厚さの 45 倍である。
- 2 外壁用 ALC パネルの最大支点間距離は、パネル厚さの 35 倍である。
- 3 屋根用 ALC パネルの最大支点間距離は、パネル厚さの 30 倍である。
- 4 床用 ALC パネルの最大支点間距離は、パネル厚さの 25 倍である。

問題 22 ALC パネルの計画に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 ALC パネルの割付けは、600mm 幅のモジュールとなるように計画されていることが望ましい。
- 2 ALC パネルの支持方法は、原則として両端支持の単純梁とする。
- 3 重量物を設置する場合は、原則として直接 ALC パネルに荷重を負担させることが望ましい。
- 4 ALC パネルには溝堀り、孔あけ、切欠きなどの加工を行わないことが望ましい。

問題 23 鉄骨造の建物に ALC パネルを使用する場合、通常、準備工事に関して、最も不適当なものはどれか。

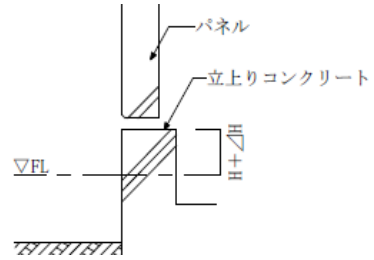
- 1 布基礎立上りコンクリート打込み
- 2 足場等仮設
- 3 かさ上げ鋼材等下地鋼材取付け
- 4 内部仕上げ工事

問題 24 施工管理に関して、最も不適当なものはどれか。

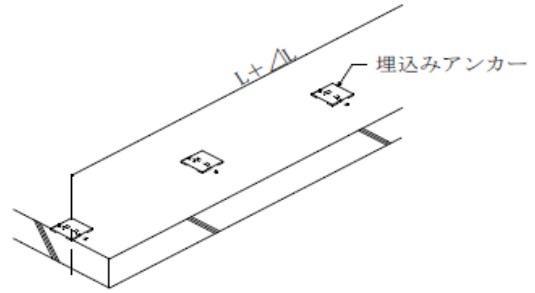
- 1 施工者は、要求性能を確保するために、施工計画書に基づき、適切に工事が実施されるよう施工管理を行う。
- 2 施工者は、監理者に対して搬入の計画や施工の段取りなどを指示する。
- 3 施工者は必要に応じて、工事の各段階で監理者の承認を受ける。
- 4 施工者は、問題が発生した場合は、監理者の指示に従って適切に対処する。

問題 25 下地の検査項目の検査方法と測定箇所の説明に関して、最も不適当なものはどれか。

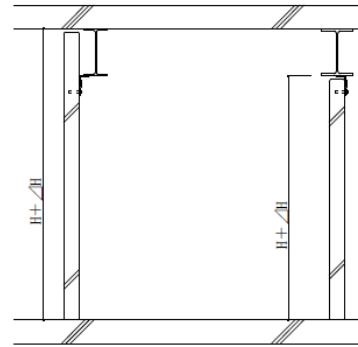
- 1 立上りコンクリートのレベル：
基準レベル（FL）から、立上りコンクリート
までの高さを測定する。



- 2 埋込みアンカーのピッチ：
埋込みアンカーの個数と当該壁面の
長さを測定し、平均ピッチ間隔を算出
してアンカーピッチとする。



- 3 パネルが取り付く部分の高さ寸法：
パネルが取り付く部分の内法寸法を
測定する。



- 4 かさ上げ鋼材の通り：
かさ上げ鋼材の心（基準位置）から、
かさ上げ鋼材の側面までの距離を
測定する。

